

ベローズユニット蛇管セット (R)

【警告】

使用上の注意

- (1) 漏れがないよう、確実に接続すること。
- (2) 使用中は閉塞を起こさないよう常に監視すること。
[重篤な有害事象を生ずる可能性がある]

【禁忌・禁止】

併用医療機器

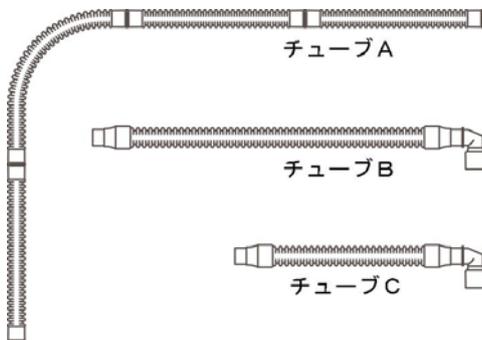
- (1) 当社が販売する麻酔器や人工呼吸器以外とは接続しないこと。
- (2) 以下の製品とは併用しないこと。
 - ・ 確実な接続状態を維持できないもの
 - ・ 接続により閉塞を起こすもの
 - ・ 離脱が困難なもの

使用方法

- (1) 分解や改造をしないこと。
- (2) 滅菌処理をしないこと。(チューブ A のみ)
[収縮・緩み・破損などが生じる可能性があり、漏れや離脱困難の原因となる]
- (3) 再使用しないこと。(チューブ A のみ)
- (4) 接続部には、絆創膏などのテープ類を巻き付けないこと。

**【形状・構造及び原理等】

形状



- (1) チューブ A
長さ：約 130 cm
接続径：19F
- (2) チューブ B
スムーズボア蛇管
長さ：約 75 cm
接続径：22F
- (3) チューブ C
スムーズボア蛇管
長さ：約 45 cm
接続径：22F (人工呼吸器側)
17F (ベローズユニット側)

組成

- (1) チューブ A
EVA
- (2) チューブ B
EVA
シリコン
- (3) チューブ C
EVA
シリコン

原理

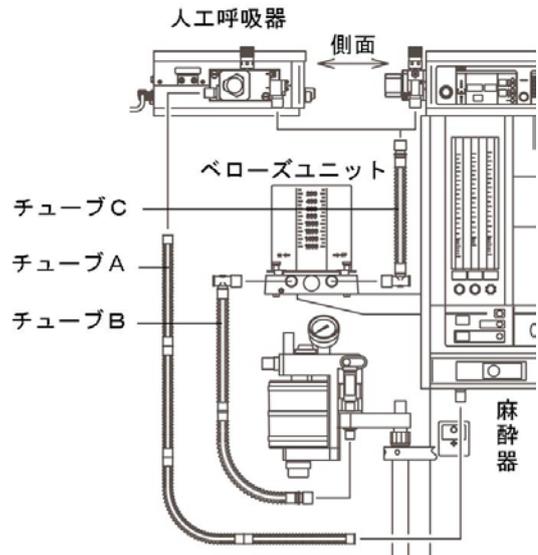
麻酔器、人工呼吸器、ベローズユニットと接続することにより、ガスの流れる経路となる。

**【使用目的又は効果】

使用目的

麻酔器、人工呼吸器、ベローズユニットを接続して使用する。

**【使用方法等】



使用方法

- (1) チューブ A で、人工呼吸器の“ガスポケット接続口”と麻酔器の“ガスポケット接続口(人工呼吸器用)”を接続する。
- (2) チューブ B のエルボ側をベローズユニットの“BREATHING SYSTEM”に、ストレートコネクタ側を麻酔器の“ベンチレータ接続口”に接続する。
- (3) チューブ C のエルボ側をベローズユニットの“DRIVING GAS”に、ストレートコネクタ側を人工呼吸器の“麻酔器接続口”に接続する。
- (4) 麻酔器、人工呼吸器の始業点検を実施する。
- (5) チューブ A は、使用後に医療廃棄物として処分する。
(自治体の定める方法に従い、安全に処理する)

【使用上の注意】

使用方法

- (1) 安全確保のため、使用前に点検する。
- (2) 異常時には速やかに使用を中止する。
- (3) チューブがよじれたり、折れ曲がったりしないように保持する。
- (4) 水などが溜まった場合、除去する。
- (5) 漏れ試験をしてから患者に接続する。

**【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- (1) 室温下で保管する。
- (2) 水のかからない場所に保管する。
- (3) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオン分などを含んだ空気により悪影響の生ずる恐れのない場所に保管する。

(4) 重みでチューブがつぶれたり、接続部が破損しないように配慮する。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

消毒／滅菌方法

チューブ B、チューブ C のみ可能

(1) 以下の薬液による消毒は、製品の破損につながるので使用しない。

- ・次亜塩素酸(ミルトン、ビューラック、ハイターなど)
- ・フェノール
- ・ホルムアルデヒド(ホルマリン、クレゾールなど)
- ・ケトン
- ・塩素化炭化水素 (DDT など)
- ・芳香族炭化水素 (ベンゼンなど)
- ・無機酸類(硫酸、塩酸、硝酸など)

(2) 液体に浸すような洗浄はしない。

(3) オートクレーブ滅菌は、指定の滅菌温度（121°C：15 分以上）で実施する。

また、乾燥などの工程時、滅菌装置庫内の温度が指定滅菌温度以上になる場合があるので、使用滅菌装置の添付文書などで安全を確認する。

(4) 滅菌は、使用する装置の滅菌条件を守る。

処分方法

医療廃棄物として廃棄する。

** * 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者の名称

アコマ医科工業株式会社

電話番号

03-3811-4151（緊急時も同様）

<https://www.acoma.com>